

## 第4回 若手論文執筆研修 実施要領

【日時】 2016年12月19日(月)～21日(水)

【場所】筑波大学アイソトープ環境動態研究センター(旧 陸域センター) 1階会議室

つくばセンターから「筑波大学循環バス(右回り)虹の広場 下車

【目的】若手研修の一環として、研究の最終段階である雑誌への論文執筆を現役の研究者とともに、データを整理しつつ、文章の段階へと実地に進めてみる機会を作りたいと思います。このことで若手研究者の実力アップとともに、当新学術領域 研究の成果の拡大に務めたいと思います。できれば、英文論文を目標としますが、学部4年生の場合は和文論文を目標とします。若い方は奮ってご応募ください！！

【参加資格】論文をまとめようという意欲のある若手(できればM2以上)！意欲のある学部4年生も歓迎！

【必要なもの】各自のPC、ならびに執筆の元になる学会での発表資料(パワーポイントまたはポスターのファイル等(生データ等も含む))、指導教官とよく事前に打ち合わせてきてください。

### 【スケジュール】

- ・12/19(Mon) 10:00 集合 その後各自のパワポ等による発表、13:00-17:00:相互討論と内容改善
- ・12/20(Tue) 午前:各自の発表の重要ポイントの確認、午後、夜:各自執筆活動
- ・12/21(Wed) 午前:読み合わせ、今後の執筆、推敲について議論、昼食後解散

### 【想定している論文内容】

- ・福島・日立・丸森長期モニタリング結果
- ・浪江・川俣での再飛散の季節変化とエアロゾル粒径分布の関係
- ・浪江・川俣と福島・郡山の違い
- ・昼夜のエアロゾル大気放射能濃度の違い
- ・気象状況との関係
- ・森林での鉛直分布
- ・電顕観察による放射性エアロゾルの性質
- ・ELPIによるエアロゾル質量濃度と放射能濃度の関係
- ・有機物濃度変動と放射能濃度変動の関係
- ・PMF解析・元素濃度と放射能濃度の関係
- ・セシウムボールについて\_第二弾
- ・福島県浪江町立津島小学校プールから取り出した粒子について
- ・エアロゾル ICP-MS
- ・ノルマルアルカンと放射性物質の大気中濃度の関係